

別紙 7

燃料及び原材料の使用に関する計画

用途	種 類	燃料原料の別	年間総消費量	平均いおう含有率(%)	平均窒素含有率(%)
燃	石 炭 ・ コ ー ク ス		(10 <sup>3</sup> t)		
	原 油		(10 <sup>3</sup> kℓ)		
料	重油	いおう含有率 2%以上	(10 <sup>3</sup> kℓ)		
		いおう含有率 1.5%~2%未満	(10 <sup>3</sup> kℓ)		
		いおう含有率 1.0%~1.5%未満	(10 <sup>3</sup> kℓ)		
		いおう含有率 0.5%~1.0%未満	(10 <sup>3</sup> kℓ)		
		いおう含有率 0.5%未満	(10 <sup>3</sup> kℓ)		
		灯 軽 油		(10 <sup>3</sup> kℓ)	
・	ナ フ サ		(10 <sup>3</sup> kℓ)		
	L P G		(10 <sup>3</sup> t)		
	都 市 ガ ス		(10 <sup>6</sup> N m <sup>3</sup> )		
	副 生 ガ ス ・ オ フ ガ ス		(10 <sup>6</sup> N m <sup>3</sup> )		
	天 然 ガ ス		(10 <sup>6</sup> N m <sup>3</sup> )		
	鉄 鋳 石		(10 <sup>3</sup> t)		
	そ の 他 ( )				
	( )				
	料	( )			
	材		/		/
料					

- 備考 1 年間総消費量の欄には、4月から翌年3月までの消費量を記載すること。
- 2 同一物質を燃料及び原料に使用する場合には、燃料と原料とに区分してそれぞれ記載すること。
- 3 その他の欄及び材料の欄には、汚染物質の発生に影響のある燃料、原料及び材料について記載すること。
- 4 その他は、別紙1の備考2及び3と同様とする。この場合において、「面積」とあるのは、「年間総消費量、平均いおう含有率及び平均窒素含有率」と、「施設」とあるのは、「燃料、原料又は材料」と読み替えるものとする。